

2014年4月1日～2019年3月31日の間に 当科において手術を受けられた、または受けられる方へ

—「手術室における褥瘡予防の課題と対策」へのご協力をお願い—

研究責任者 川崎医科大学附属病院 褥瘡対策室 褥瘡管理者 貝川 恵子
研究分担者 川崎医科大学附属病院 6階中央手術室 看護主任 白井 利江
川崎医科大学附属病院 6階中央手術室 看護師 高垣 祐枝
川崎医科大学附属病院 6階中央手術室 看護師 柿原 寿満
川崎医科大学附属病院 14階西病棟 看護主任 荒木 しのぶ

1. 研究の概要

本研究は、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得ています。

日本褥瘡学会を中心にチーム医療の先駆けとして褥瘡対策に取り組み、褥瘡発生は急速に減少しています。特に大学病院の推定褥瘡発生率は1%を切ることも多くなっています。しかし、当院では過去2年、褥瘡発生の上昇を認めています。当院の多くの褥瘡発生患者は、高齢患者、重症患者、手術を受けた患者でした。

手術を受ける患者の体位は、手術が安全に行うことができ、手術操作を妨げない術野の確保と体位の固定が求められます。全身麻酔下で、褥瘡発生する要因である褥瘡発生する部位の循環障害、長時間の圧迫など多くのリスク環境に置かれることが分かっています。手術中での褥瘡発生の危険因子は、一般病棟での危険因子と異なることが予想されます。

今回、手術中に褥瘡発生した患者さんがなぜ褥瘡発生したのかその要因を調査することで原因を明確化し、今後の褥瘡発生を予防する対策の再構築を行い、褥瘡発生率の低下に繋げていきたいと考えています。情報のみを用いた研究であるため、新たなリスク、負担はありません。また経済的負担・謝礼はありません。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2014年4月1日～2019年3月31日の間に当院で手術を受けられた、または受けられる方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日 ～ 西暦2020年3月31日

3) 研究方法

2014年4月1日～2019年3月31日の間に当院で手術を受けられた、または受けられる方で研究者が診療情報をもとに褥瘡が発生する要因を抽出し、何が手術中の褥瘡発生要因なのかについて分析を行います。

4) 使用する情報の種類

①2014年4月1日～2018年3月31日の期間の方は下記の内容
患者背景:性別・年齢・術式

②2018年4月1日～2019年3月31日の期間の方は下記の内容
ア. 患者背景:性別・年齢・BMI(身長・体重)・血液データ(WBC・Hb・Alb・TP・Crn・CRP)・既往歴、褥瘡の既往・疾患名・要介護度・日常生活自立度・褥瘡発生危険因子・抗血栓薬、ステロイド、抗がん剤投与の有無、糖尿病

治療の有無、入院日数・術後の入院日数

イ. 手術関連:術式・手術時間・手術体位・使用した医療機器使用・褥瘡予防方法・ICU入室の有無・ICU入室期間・術後の合併症

ウ. 褥瘡関連:褥瘡発生場所・褥瘡部位・DESIGN評価・手術後から褥瘡発生までの期間

5) 情報の保存及び利用

この研究に使用した情報は、学会発表等から5年間、川崎医科大学附属病院 中央手術室で保管させていただきます。電子情報の場合は、パスワードで制御されたコンピューターに保存し、紙媒体等は施錠可能な保管庫で保存いたします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

本研究に関するご質問等がありましたら下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますのでお申し出ください。

今回、診療で得られた情報は、学会で発表予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。本研究に同意いただけない方は研究対象としませんので、2019年5月31日までに下記までご一報くださいますようお願い致します。なお、同意撤回による診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益を生じること是一切ありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者:貝川 恵子(川崎医科大学附属病院 褥瘡対策室)

電話番号:086-462-1111 内線:24191 (平日9時~17時)

E-mail : kkai@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究における関係者には、研究結果に影響を及ぼすような資金の使用及び受け入れはありません。この内容を利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。